第98号

議会から こんにちは

2026 5.1
令和8年

佐野市消防本部内に本市と足利市が共同運用する「とちぎ南西消防指令センター」が設置され、令和8年4月1日から運用が開始されました。両市の消防職員が119番通報をまとめて受け付け、それぞれの市に出動指令を行います。

119番通報者のスマホカメラを使い、現場のリアルタイムを消防指令センターへ送信する高機能な映像通信システム（Live119）が導入され、火災や事故の状況、場所を正確に共有し、迅速な救急・消防活動や、映像を用いた適切な応急手当指導が可能になりました。

令和8年2月定例会

■令和8年度予算案を可決
■予算審査特別委員会で延べ29人が質疑
■一般質問に20人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。➡

佐野市議会 検索

佐野市議会スマート中継 検索

令和8年度の予算案を審議、可決

令和８年度予算は、「令和８年度佐野市行政経営方針」及び「令和８年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する質疑に**穐原政夫議員（令和みらい）、早川貴光議員（未来の佐野を明るくする会）、長浜成仁議員（佐野市の明日をつくる会）、慶野常夫議員（政友みらい）、谷美枝子議員（公明党議員会）、澤田裕之議員（創政クラブ）、鶴見義明議員(日本共産党議員団)**（以上質疑順）の7人が登壇しました。

また、議員全員で構成される予算審査特別委員会では、一般会計、特別会計及び企業会計の予算案に対し、３月９日、11日、12日、13日、16日の５日間にわたり延べ29人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全８議案を可決し、併せて「令和８年度予算審査要望書(４・５ページに記載)」を取りまとめました。

市長の予算大綱説明

予算審査特別委員会

（パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます！）

委員長
久保　貴洋

副委員長
穐原　政夫

佐野市議会　議会中継

「令和８年第１回(2月)定例会・常任委員会・予算審査特別委員会」からご覧ください。

予算審査特別委員会 質疑者一覧

一般会計			
発言順序	氏名	発言順序	氏名
1	鶴見　義明	10	滝田　洋子
2	茂木　明男	11	長浜　成仁
3	栗﨑　卓二	12	堀川　悦郎
4	横塚　　剛	13	立川　俊一
5	田邉　直美	14	山菅　直己
6	早川　貴光	15	小倉　健一
7	谷美　枝子	16	慶野　常夫
8	猪瀬　朱美	17	大山　圭司
9	小森　隆一	18	澤田　裕之

特別会計及び公営企業会計			
発言順序	氏名	発言順序	氏名
1	小森　隆一	7	小倉　健一
2	滝田　洋子	8	澤田　裕之
3	長浜　成仁	9	横塚　　剛
4	猪瀬　朱美	10	立川　俊一
5	鶴見　義明	11	早川　貴光
6	谷美　枝子		

予算審査会場の様子

令和8年度 予算の概要（当初予算額）

一般会計	６８４億2,０００万円
特別会計	２６９億5,３２０万円
公営企業会計収入	１０３億　４９４万円
〃　　支出	１３４億　１７５万円

（1万円未満四捨五入）

議会費

議員人件費 議員２４名の人件費	２億　５１６万円
職員人件費 議会事務局職員９名の人件費	７,７０９万円
政務活動支援事業費 議員一人あたり年間３０万円（月額２万５千円）の政務活動費を交付する費用（議員２４名分）	７２０万円
議会運営総務事務費 議会運営に関する諸費用	３５２万円
会議録作成事業費 会議録作成費及び会議録検索システム使用料など	６１３万円
議会だより発行事業費 さの市議会だよりの印刷費用（定例会号が年4回分）	４８７万円
常任委員会活動支援事業費 常任委員会の行政視察に使用する費用	２９５万円
議会映像配信事業費 定例会の映像配信に要する費用	１６９万円
全国市議会議長会参画事業費、ほか8事業 全国市議会議長会負担金など	９０３万円
計	３億１,７６４万円

（注）各事業費の1万円未満を四捨五入しているため、実際の数値と異なることがあります。

令和8年度 予算審査要望書

健全な財政運営の継続

1 今後の社会情勢や人口減少に伴う税収減を見据え、将来にわたり持続可能な行政サービスを維持するためには、より強固で健全な財政基盤の構築が不可欠である。既存の事務事業については、DXを推進し業務の効率化を図りつつ、「スクラップ・アンド・ビルド」を徹底して行い、費用対効果の検証に基づいた大胆な見直しを断行されたい。また、状況に応じて臨時財政対策債の繰上償還を計画的に進めるなど、市債残高の抑制と公債費負担の軽減を図り、次世代に過度な負担を先送りしない、責任ある財政運営に努められたい。

地域防災力の強化

2 近年の自然災害の激甚化、頻発化が深刻な課題となる中、本市における地域防災力の強化は喫緊の問題である。特に、高齢化の進展や、コミュニティの希薄化による共助体制の弱体化が懸念される。そのため、自主防災組織への活動支援や防災リーダーの育成を一層強化し、平時から顔の見える関係づくりを推進されたい。加えて、災害時における高齢者や障がい者のための福祉避難所の体制整備が不可欠である。各地域での受け入れ先確保の観点から、市内介護施設等の有効活用を図るための民間施設との協定締結を早急に進めるとともに、専門的な避難所支援を可能にする「佐野市版ローカルDWAT(災害派遣福祉チーム)」の体制構築を速やかに整備されたい。

安心して子どもを産み育てられる支援体制の充実

3 少子化が進む中、誰もが安心して出産し、子育てができる環境を整えることは重要な課題である。子育ては本来大きな喜びであるが、育児疲れや孤立感を抱える家庭も少なくない。こうした家庭に対し、保護者が一時的に休息をとることができる「レスパイト支援」や、子どもを短期間預かる入所施設(ショートステイ)の役割はますます重要になっており、早期の体制充実を図られたい。

また、日常的に医療的ケアが必要な「医療的ケア児」が急増している。「医療的ケア児」とその家族が地域で安心して暮らせるよう、相談体制の充実や、通園・通学支援の拡充とともに、関係機関が緊密に連携し、切れ目のない支援体制のさらなる強化に努められたい。

けんしんスタートブックの充実

4 市民が自らの健康に関心を持つきっかけを提供する「けんしんスタートブック」は、単なる健診の案内にとどまらず、生涯にわたる健康づくりのスタート地点として位置付けることができる。健康づくりにおいては、それぞれのライフステージに応じたきめ細やかな対応が必要であるが、現状、特に子育て期の保護者は、日々の育児に追われ、自身の健康管理を後回しにしてしまう傾向がみられる。市民がそれぞれの段階で適切な予防行動をとり、健診受診率の向上につなげられるよう、プレコンセプションケア、親子歯科検診及び口腔ケアの重要性並びに更年期などライフステージに応じた健康課題の内容を充実させ、周知と啓発の一層の強化に努められたい。

良質な教育環境の整備と児童生徒支援の充実

5 かえで義務教育学校及び城東中学校区小中一貫校の整備については、民間事業者が設計・建設・運営を一括して行うDBO方式により実施し、長期にわたる計画として示されている。計画の実施にあたっては、物価変動等の社会情勢の変化に適切に対応した予算措置を講じるとともに、計画期間にとらわれ拙速に進めることなく、教育環境の質の低下を招くことのないよう状況を的確に見極めながら、慎重かつ丁寧に遂行されたい。

また、さわやか教育指導員や特別支援学級支援員の増員により指導体制を強化し、不登校児童生徒について個々の実情に応じた支援がより一層図られるよう、支援教室の運営をはじめとする支援体制のさらなる充実に努められたい。

企業誘致の推進と地域経済の活性化

6 企業立地促進に資する事業に必要な経費の財源を確保するための基金が創設され、本市の地理的優位性を生かした、戦略的かつ計画的な企業誘致のさらなる取組が期待される。市内企業についても、海外展開を見据えた多角的な調査･分析に基づいた支援施策の構築や、創業希望者への支援の充実に着実に取り組まれたい。

また、地域経済の持続的成長には人と人との交流や賑わいの創出が不可欠である。賑わいのあるまちなかの形成や、田沼駅及び葛生駅周辺地区を対象とした地域市街地の活性化について、積極的な事業展開に努められたい。

空き家の適切な管理の推進

7 近年、本市における空き家は増加傾向にあり、早急な対策が求められている。適切に管理されず、放置された空き家の繁茂した立木等が、近隣住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす事例もある。空き家の購入や賃貸についての情報提供や、購入した物件の改修費用を補助する空き家バンク制度があるが、登録件数は伸び悩んでおり、制度の周知のさらなる強化が求められる。また、現在実施している司法書士による相談会についても、相談者数が低調であることから、民間の多職種事業者が連携した合同セミナーの開催など、実効性の高い手法を導入し、空き家対策への意識醸成を図られたい。

予算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件　名【内　容】	議決結果	
一般会計			
議案第56号	令和8年度佐野市一般会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ68,420,000千円とする】	原案可決	賛成多数
特別会計			
議案第57号	令和8年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ11,834,600千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第58号	令和8年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ272,500千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第59号	令和8年度佐野市介護保険事業特別会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ12,605,800千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第60号	令和8年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ2,050,300千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第61号	令和8年度佐野市田島・船津川産業用地造成事業特別会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ190,000千円とする】	原案可決	賛成全員
公営企業会計			
議案第62号	令和8年度佐野市水道事業会計予算【収益的収入の予定額を2,321,006千円、収益的支出の予定額を2,486,147千円とする。資本的収入の予定額1,721,397千円、資本的支出の予定額を2,931,561千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第63号	令和8年度佐野市下水道事業会計予算【収益的収入の予定額を4,210,438千円、収益的支出の予定額を4,033,353千円とする。資本的収入の予定額2,052,096千円、資本的支出の予定額を3,950,692千円とする】	原案可決	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件　名	賛成	反対	議員名　[議席番号順]																						
				1	2	3	4	6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				堀川悦郎	田邉直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗崎卓二	澤田裕之	藁原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
議案第56号	令和8年度佐野市一般会計予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第57号	令和8年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第59号	令和8年度佐野市介護保険事業特別会計予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
議案第60号	令和8年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○

※○＝賛成、×＝反対
※菅原達議長は採決に加わりません。

茂木（もてぎ）　明男（あきお）　議員
（創政クラブ）

みかもクリーンセンターについて

Q 本市のリチウムイオン電池の回収方法は適切か見解を伺いたい。

A 市長

市民の皆様の利便性を考慮し、ごみステーション収集にて回収、中身が見える指定袋により、有害ごみとして適正な分別と排出をお願いしています。

しかし、昨今のリチウムイオン電池等を起因とする火災事故の発生や、国からリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策が示されたことを踏まえ、令和8年度にはごみ区分の手引きを作成する際に、他のごみ分別に混入することを防ぐため、リチウムイオン電池が使われている品目を例示したいと考えています。引き続き、より安全な回収方法や対策について検討を進めていきます。

その他の質問

☆障害年金について
☆中学生のスポーツクラブチーム加入の現状について
☆防犯カメラ設置について

谷（たに）　美枝子（みえこ）　議員
（公明党議員会）

市民活動の推進と地域コミュニティの活性化について

Q 町会役員の担い手不足について、本市はどのように考えているのか伺いたい。

A 市長

町会役員の担い手不足については、多くの町会で直面している課題であると認識をしています。担い手不足の主な要因としては、高齢化や役員になることへの負担感が大きいことなどが挙げられ、その解消に向けた取り組みが重要であると考えています。

本市としては、町会活動を知っていただくための若い世代への啓発強化や、町会役員の負担軽減策として、ショートメッセージサービスなどによる町内連絡網の構築ができるよう、デジタルスキルアップ研修などの支援を行っていきたいと考えています。引き続き町会長連合会との連携を図りながら、地域課題の把握と解決に向けて取り組んでいきます。

その他の質問

☆都市公園の安全管理と維持管理について

井川（いがわ）　克彦（かつひこ）　議員

新たな学校建設計画と小中一貫教育との関係について

Q 新設学校の建設費及び総事業費見込額、財源内訳、市の実質負担額を伺いたい。

A 教育部長

城東中学校区小中一貫校は建設費92億2，520万円、財源内訳は国庫支出金6億1，100万円、学校教育施設等整備事業債46億850万円、学校整備基金繰入金29億4，200万円、一般財源10億6，370万円、田沼東中学校区小中一貫校は、建設費合計110億円、財源内訳は国庫支出金7億3，400万円、市債69億7，410万円、学校施設整備基金繰入金5億2，500万円、一般財源27億6，690万円、堀米地区北中学校区小中一貫校は、建設費120億円、国庫支出金7億8，000万円、市債76億2，150万円、一般財源35億9，850万円、犬伏地区北中学校区小中一貫校は、建設費130億円、国庫支出金5億7，700万円、市債84億6，030万円、一般財源40億3，270万円です。

その他の質問

☆小中一貫教育制度の導入方針について
☆小中一貫教育制度の進め方と今後の見直しについて

久保（くぼ）貴洋（たかひろ）議員
（創政クラブ）

市道105号線の道路整備について

Q NTT東日本新合電話交換センタから寺山墓地入口までの約310メートル区間、また、旧閑馬小学校バス停付近から旧閑馬小学校北口校門付近まで約260メートルの未整備部分拡張工事について、本市の考えを伺いたい。

A **市長**

現在の整備状況について、平成21年度から事業に着手し、令和2年度には寺山墓地入口付近から旧閑馬小学校前バス停までの290メートルが完了し、その後、令和5年度には主要地方道桐生田沼線の道路整備事業に関連する40メートルの整備が完了し、合わせて330メートルの整備が完了しています。

未整備区間2か所の整備については、道路幅員が狭く、また、山がせり出して見通しの悪い箇所もあるので、安全確保のためにも、今後整備の必要性があるものと認識しています。

現在事業実施中の300メートルの区間の整備完了後、順次未整備区間の拡幅工事を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆市立学校長期休業の延伸について
☆こども郷土愛醸成について
☆あそ野学園義務教育学校の施設整備等について

小倉（おぐら）健一（けんいち）議員
（政友みらい）

若者を応援する二十歳のつどい（旧成人式）について

Q 二十歳のつどい（旧成人式）をほかの世代と同じように開催できなかった年代、世代がある。本市はこれからの若者をしっかりと支え、応援していくといった市の姿勢を表すためにも、この世代に対しリベンジ成人式の開催を提案するが、見解を伺いたい。

A **教育部長**

本市では、令和3年3月21日に対面ではないオンライン成人式を実施しました。実施までに成人式企画運営委員会の意見を踏まえ、5つの事業を行いました。

また、アンケート結果において、本市主催の式典を希望しないとの回答が約71％であったことから、世代間の公平性などの観点から、市主催で開催することは難しいものと考えています。

本市としては、学校ごと、あるいは地区ごとで開催したいという自主的な開催については、若者を支え、応援する姿勢は変わりませんので、可能な限りのサポートをしたいと考えています。

その他の質問

☆災害時における孤立可能性集落対策について

澤田（さわだ）裕之（ひろゆき）議員
（創政クラブ）

持続可能で安全な水道事業の運営について

Q 重要給水施設へのルート確保について、能登半島地震の教訓からも、災害拠点病院や避難所となる小中学校へつながる配水管の耐震化は最優先課題である。

今後重要施設、避難所となる学校や災害拠点病院などにつながる配水管の耐震化の推進について伺いたい。

A **上下水道局長**

令和7年1月に策定しました佐野市上下水道耐震化計画において、重要施設として指定している施設は、病院、消防庁舎、市役所庁舎、地域防災計画に指定する避難所など、合計で30か所あります。今後はこれらの施設の直近の浄水場、または配水場からの最短ルートの配水管について、本計画に基づき、計画的な耐震化に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆森林環境譲与税の有効活用と森林整備の推進について
☆激甚化する気象条件を踏まえた林野火災対策について
☆有機フッ素化合物（PFAS）への対応と安全性確保について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます

佐野市議会会議録

田邉（たなべ）　直美（なおみ）　議員
（創政クラブ）

メディア情報リテラシー教育の推進について

Q 本市におけるノーメディアデーの取り組みの目的及び情報教育をどの教科で教えているか伺いたい。

A **教育長**

現代社会において、電子メディアは私たちの生活に欠かせない存在となっていますが、一方で長時間の利用による依存リスクや健康への影響、コミュニケーションの希薄化、また情報の偏りなどが課題として指摘されています。

本市では、こうした課題に対応すべく、ノーメディアデーを通じて電子機器の利用を一定時間控えることにより、メディアとの関係性を見直し、より適切な付き合い方を考えるきっかけとなるよう位置づけています。

現在の学習指導要領では、情報活用能力は学習の基盤となる大切な資質、能力であると位置づけられていて、各教科を始め、教科横断的な学びや探究的な学びのプロセスを通じて育成を図っています。

その他の質問

☆さのまる健康アプリにおけるウォーキングコースについて

鶴見（つるみ）　義明（よしあき）　議員
（日本共産党議員団）

国民健康保険について

Q 国民健康保険税に4月から新たに子ども・子育て支援納付金分が追加されることになったが、これは国民健康保険加入者全員に賦課される。※子ども・子育て支援金制度が創設された背景についてお伺いしたい。

A **健康医療部長**

子ども・子育て支援金制度が創設された背景について、国では子育てに関する負担を軽減し、少子化傾向の反転につなげていけるよう、子ども・子育て支援金制度が創設されました。

令和8年度からすべての世代及び企業等の経済主体から、医療保険の保険料と合わせて、子ども・子育て支援金を納付してもらうものです。

その他の質問

☆会計年度任用職員について
☆こども誰でも通園制度について

※子ども・子育て支援金制度とは・・

2026年4月から開始される、少子化対策の強化（「こども未来戦略」に基づく加速化プラン）の財源を確保するための新しい仕組みです。公的医療保険料（税）に上乗せして徴収されます。

猪瀬（いのせ）　朱美（あけみ）　議員
（未来の佐野を明るくする会）

地域共生社会について

Q 本市においても、今後複雑化、複合化する生活課題に対応していくためには※重層的支援体制整備事業に取り組むべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A **こども福祉部長**

重層的支援体制整備事業は、共生社会の実現のための具体的手段であることは認識しています。

この事業の実施に当たって、各機関の役割や調整機能の在り方など、改めて基盤を整備する必要があると考えています。

そこで、国や他の自治体の状況を注視し、効果的な支援体制の構築に向け、研究あるいは検討も含めて考えていきたいと思います。

その他の質問

☆療育について
☆産後ケア事業について

※重層的支援体制整備事業とは・・

高齢者・子ども・障がい者・生活困窮者など、分野ごとの縦割りを越えて、地域全体でまるごと相談を受け止め、複合的な課題を抱える世帯を一体的に支える仕組みです。

横塚（よこづか）　剛（つよし）　議員
（創政クラブ）

国道50号沿線開発について

Q 国道50号沿線開発について、令和7年度にあった進出企業の問合せの状況と今後の取り組みについて伺いたい。

A **産業文化スポーツ部長**

令和7年度における産業用地に関する問合せ件数は、令和8年1月末現在、本市全体で26件、面積にしますと202.6ヘクタールの問合せがありました。なお、業種については、製造業が13件、物流業が3件、小売業が1件のほか、その他9件です。

今後の取り組みについては、本市の魅力ある奨励制度を含め、本市の産業拠点や民間事業者による開発を誘導する区域の周知を効果的に行うとともに、市長によるトップセールスによって、積極的な企業誘致を推進していきたいと考えています。

その他の質問
☆本市の防災について

慶野（けいの）　常夫（つねお）　議員
（政友みらい）

本市の消防防災について

Q 消防署が偵察用バイクを購入する主な目的は、火災発生時の機動力の高さと情報収集能力の向上にあると思う。交通渋滞や瓦礫（がれき）などで車両が通行できない場所にもアクセスが可能であり、小型消火器などを搭載し、消防車の到着前に初期消火を行うことができる。

令和7年度から運用を開始した偵察用バイクを導入した経緯について伺いたい。

A **消防長**

本市は孤立可能性集落が多く指摘されていて、土砂災害発生時には消防車両が進入できない可能性があることから、災害時の情報偵察用としてオフロードバイクの導入を検討していました。その中で、栃木県消防学校からオフロードバイクの無償譲渡の照会があり、この機会を捉えて無償譲渡を受け、令和7年10月1日から正式に運用を開始しています。

その他の質問
☆公園のドッグラン施設について
☆市営の屋内子どもの遊び場について

大山（おおやま）　圭司（けいじ）　議員
（政友みらい）

ふるさと納税について

Q ふるさと納税の仕組みについて伺いたい。

A **総合政策部長**

自分の生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域や、これから応援したい地域の力になりたいという思いを、寄附という形で表す制度です。住所地へ納税する住民税を実質的に移転する効果がある仕組みで、寄附金税制を活用していますので、法律上は寄附とそれに伴う税の軽減を組み合わせたものとなっています。

自分の選んだ自治体にふるさと納税を行った場合、寄附額のうち2千円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度で、ふるさと納税をいただいた自治体は、寄附をしていただいた方に返礼品を送付することができる制度です。

その他の質問
☆今後の指定管理者制度について
☆ふるさと住民登録制度について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます
佐野市議会会議録

蘖原（はぎわら）　政夫（まさお）　議員
（令和みらい）

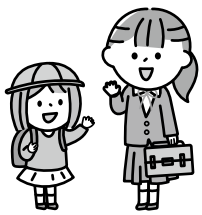
こどもまんなか社会実現に向けての市の取組について

Q 義務教育9年間を見通したキャリア教育の推進について伺いたい。

A 教育長

児童生徒が広い視野から社会や職業を捉える力を培うためには、義務教育9年間を見通した体系的、系統的なキャリア教育を計画的に進めていく必要があると考えています。そこで本市教育委員会では、本年度学習の系統性を小中義務教育学校の教員が検討し、キャリア教育の計画として位置づけられるようなシートを作成しました。小中一貫教育の推進ブロックごとに、このシートを活用して自校化を図る予定です。こうした教育を行うことで、児童生徒は自分の可能性を広げ、社会に貢献できる人材として成長していくことが期待されます。

市教育委員会としては、引き続き地域の事業所等と連携を図りながら、9年間を見据えたキャリア教育の推進に努めていきます。



早川（はやかわ）　貴光（たかみつ）　議員
（未来の佐野を明るくする会）

デジタル地域通貨「さのまるペイ」について

Q 物価高騰対策のさのまるペイポイントの給付事業は、市民を対象に一人当たり8千円分のポイントを使い切りカードで給付し、食料品のみならず生活必需品等にも幅広く利用できるが、現状ではカードが利用できる店舗は限定されるという課題があり、アプリ利用への転換を促す取り組みをするとのことだが、その内容を伺いたい。

A 総合政策部長

カードからアプリへ利用形態を変えていただくと、より利便性の高いさのまるペイが利用できるため、カードを配送する際に、分かりやすいアプリの登録の仕方や、カードからアプリへの移行の仕方の通知を入れつつ、その通知だけでは分かりづらいところもあるため、丁寧に説明をしながら進めていきます。

その他の質問

☆佐野市公共施設案内・予約システムについて

滝田（たきた）　洋子（ようこ）　議員
（日本共産党議員団）

学校給食について

Q みんなのまなびばアクティヴ・マイルームに通室している児童生徒への食事提供について、給食の配食を含め、家庭負担の軽減と子供の権利保障の観点からどのように検討しているのか、現状の課題認識と今後の方針について伺いたい。

A 教育部長

みんなのまなびばアクティヴ・マイルームへの配食を行うに当たり、牛乳用保冷庫の設置など配食された給食を安全に保管するための設備の整備が必要となります。また、児童生徒の登校先が日によって異なるため、配食先や配食数の把握、食物アレルギーを持つ児童生徒への対応及び配送先の追加に伴う配送ルートの変更など様々な問題を解決、解消する必要があります。両学び場への配食については、引き続き研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆多様な居場所について

立川 俊一（たちかわ しゅんいち）議員

（佐野市の明日をつくる会）

学校教育について

Q 総事業費数百億円規模の投資に対する費用対効果の分析は、どのように行われているか伺いたい。

A **教育部長**

費用対効果の観点も含め、慎重に検討を行っています。事業費については、国の補助制度の活用を前提に、建設単価や施設規模の妥当性について、建設物価などの動向や類似事例との比較を行うとともに、建設コンサルタントの専門的知見を活用し、サウンディング調査などを通じて事業費の精査に努めています。

公共施設の維持管理の面では、将来的な学校配置の在り方を踏まえ、老朽校舎を個別更新した場合との比較において、維持管理費や将来更新費用の平準化、施設集約による効率化など、中長期的な財政負担の軽減についても考慮しています。

その他の質問

☆山間部における土地利用の適正化と土砂災害防止対策について

長浜 成仁（ながはま なるひと）議員

（佐野市の明日をつくる会）

さのまるの今後について

Q さのまるに次ぐ第2のゆるキャラを誕生させ、活動が展開できれば、さらなる地域活性化が期待できるのではないかと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A **総合政策部長**

新たなキャラクターの誕生により期待される効果としましては、既存のさのまるとは異なる方向性や個性を持つキャラクターを展開することで、多彩なストーリー展開が可能となり、新たなファン層を獲得できる点が挙げられます。

新たなキャラクターを誕生させることについては、その導入による効果と課題を踏まえ、調査研究をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆第2次佐野市地域公共交通計画（案）について

☆スポーツ医科学センターについて

☆防災力向上の取組について

さのまる © 佐野市

小森 隆一（こもり りゅういち）議員

（公明党議員会）

企業誘致の促進について

Q 国道50号田島インター産業団地の整備において、予想される課題について伺いたい。

A **産業文化スポーツ部長**

用地買収の交渉に時間を要する可能性があるほか、投入した公費を分譲益で賄うため、売れ残りによる財政的リスクが生じる可能性があることが課題として挙げられます。

また、軟弱地盤に関しては、令和5年度に実施した地盤調査において、安定した地盤が確認されており、令和8年度に実施予定の詳細設計において、経済比較及び施工性、安全性を含め、施工方法等について総合的に検討していきます。

さらに、当該地域は洪水浸水想定エリアのため、盛土等によるハード対策と合わせ、ソフト対策として避難計画の策定や、地域外への避難が困難となった場合における垂直避難の検討など、防災減災対策を義務づけていきます。

合わせて、菊沢川の改修工事については、栃木県安足土木事務所と連携を図りながら進めます。

その他の質問

☆学校教育について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます

佐野市議会会議録

栗崎（くりさき）　卓二（たくじ）　議員
（創政クラブ）

井戸水の活用について

Q 災害用井戸の登録について、栃木県では8市町、1,042件の井戸が登録されている。また、国全体では、公共用、民間所有を含めた災害用井戸の取り組みを行っている市区町村は約32％とのことだが、本市の災害用井戸の登録制度導入について伺いたい。

A 市長

災害用井戸の登録制度は、大規模災害が発生し、水道が断水になったときに、市民や事業者が所有する井戸水を生活用水として提供していただく登録制度です。

大規模災害が発生した場合、水道施設の損傷による長期間の断水が予想され、各家庭で備蓄している水や市販の水、給水車による応急給水等で対応することになりますが、洗濯やトイレ等に使用する生活用水の不足については、それを補うものとして災害用井戸の登録制度を令和8年度中に導入していきたいと考えています。

その他の質問

☆中学校及び義務教育学校部活動改革について

堀川（ほりかわ）　悦郎（えつろう）　議員
（創政クラブ）

児童生徒における性暴力被害について

Q 児童生徒における性暴力被害について、本市での小・中・義務教育学校の点検方法とその結果について伺いたい。

A 教育長

教職員が児童生徒に対して行った盗撮被害については、令和7年8月に教諭が逮捕された事件を受け、教育環境の安全確保の徹底を図るため、複数の教職員による緊急点検を令和7年8月下旬に盗撮防止に係る緊急校内一斉点検を行い、本市においては不審な物や小型カメラなどは発見されませんでした。

また、児童生徒における性暴力等の根絶に向け、児童生徒が自分の意見や感情をはっきりと示すことができる教育環境づくりに努め、教職員の意識改革と研修の充実を図り、性暴力等やハラスメントに関する正しい理解と適切な対応力の向上を目指します。

その他の質問

☆児童虐待防止対策について
☆コミュニティ・スクールについて

令和８年第１回定例会（２月定例会）審議された議案等と結果

第１回定例会（２月定例会）は、２月20日（金）から３月19日（木）までの28日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
議員案第1号	佐野市議会委員会条例の改正について【詳細は15ページに記載】	原案可決	賛成全員（欠席1名）
議案第1号	市長の専決処分事項の承認について【令和7年度佐野市一般会計補正予算（第11号）の歳入歳出予算の総額にそれぞれ44,381千円を追加】	承認	賛成全員（欠席1名）
議案第2号	教育委員会委員の任命について【伊藤（いとう）　弘教（ひろたか）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第3号	農業委員会委員の任命について【福地（ふくち）　英之（ひでゆき）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第4号	農業委員会委員の任命について【安原（やすはら）　茂（しげる）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第5号	農業委員会委員の任命について【若田部（わかたべ）　満（みつる）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
議案第6号	農業委員会委員の任命について【篠原（しのはら）　幸雄（ゆきお）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第7号	農業委員会委員の任命について【萩原（はぎわら）　洋子（ようこ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第8号	農業委員会委員の任命について【青木（あおき）　務（つとむ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第9号	農業委員会委員の任命について【佐取（さとり）　潤一（じゅんいち）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第10号	農業委員会委員の任命について【岩上（いわかみ）　政衛（まさえ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第11号	農業委員会委員の任命について【深澤（ふかざわ）　雄二（ゆうじ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第12号	農業委員会委員の任命について【美濃島（みのしま）　喜久夫（きくお）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第13号	農業委員会委員の任命について【石澤（こくざわ）　和枝（かずえ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第14号	農業委員会委員の任命について【向田（むかだ）　栄一（えいいち）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第15号	農業委員会委員の任命について【村樫（むらかし）　太郎（たろう）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第16号	農業委員会委員の任命について【中島（なかじま）　福一（ふくいち）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第17号	農業委員会委員の任命について【立川（たちかわ）　幸一（こういち）氏を任命】	任命同意	賛成全員※（除斥1名）（欠席1名）
議案第18号	農業委員会委員の任命について【馬場（ばば）　恵子（けいこ）氏を任命】	任命同意	賛成全員（欠席1名）
議案第19号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【齋川（さいかわ）　一彦（かずひこ）氏を選任】	選任同意	賛成全員（欠席1名）
議案第20号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【佐瀬（させ）　正（ただし）氏を選任】	選任同意	賛成全員（欠席1名）
議案第21号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【栗原（くりはら）　典子（のりこ）氏を選任】	選任同意	賛成全員（欠席1名）
議案第22号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【福田（ふくだ）　文子（あやこ）氏を選任】	選任同意	賛成全員（欠席1名）
議案第23号	佐野市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の改正について【指定管理者選定委員会を条例の定めるところにより設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第24号	佐野市行政手続条例の改正について【公示送達の方法を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第25号	佐野市交通安全対策会議条例の廃止について【佐野市交通安全対策会議を廃止するための条例の廃止】	原案可決	賛成全員
議案第26号	佐野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【学校評議員を廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第27号	佐野市会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例及び佐野市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の改正について【会計年度任用職員の報酬等の規定を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第28号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【市長、副市長及び市議会議員の令和8年4月以降に支給する期末手当の支給率を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第29号	佐野市職員の給与に関する条例等の改正について【期末手当等の支給率を改め、行政職の職員等に第2種初任給調整手当を支給し、及び所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第30号	佐野市特別会計条例の改正について【佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）の名称を改め、及び新たに佐野市田島・船津川産業用地造成事業特別会計を設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第31号	佐野市国民健康保険税条例の改正について【国民健康保険税の課税限度額を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第32号	佐野市新型コロナウイルス感染症に係る事業資金借入金返済利子補助事業基金条例の廃止について【佐野市新型コロナウイルス感染症に係る事業資金借入金返済利子補助事業基金を廃止するための条例の廃止】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
議案第33号	佐野市企業立地促進基金条例の制定について【企業の立地促進に資する事業に必要な経費の財源を確保するための条例の制定】	原案可決	賛成全員
議案第34号	佐野市奨学金貸与条例の改正について【奨学金の貸与資格を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第35号	佐野市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の改正について【乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第36号	佐野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について【特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるための制定】	原案可決	賛成全員
議案第37号	佐野市こどもクラブ条例の改正について【第7城北こどもクラブを設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第38号	佐野市介護保険条例の改正について【介護保険法施行令の改正に伴い、保険料率の算定方法に係る規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第39号	佐野市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の改正について【非常災害時における一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続の特例を定めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第40号	佐野市文化施設条例の改正について【佐野市文化会館リニューアルに伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第41号	佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正について【田島地区地区整備計画区域の名称及び建築物に関する制限を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第42号	佐野市営住宅条例の改正について【入居者の資格等を改め、及び金屋市営住宅を廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第43号	佐野市水道事業企業職員及び下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の改正について【水道事業企業職員及び下水道事業企業職員に第2種初任給調整手当を支給するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第44号	佐野市下水道条例の改正について【出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第45号	佐野市火災予防条例の改正について【簡易サウナ設備の基準を定めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第46号	氷室辺地総合整備計画の策定について【氷室辺地総合整備計画の策定】	原案可決	賛成全員
議案第47号	白岩・作原辺地総合整備計画の変更について【白岩・作原辺地総合整備計画の変更】	原案可決	賛成全員
議案第48号	飛駒辺地総合整備計画の変更について【飛駒辺地総合整備計画の変更】	原案可決	賛成全員
議案第49号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第12号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,265千円を追加】	原案可決	賛成全員 (欠席1名)
議案第50号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第13号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ473,856千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第51号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ121,311千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第52号	令和7年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ869千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第53号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第5号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,561千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第54号	令和7年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ17,873千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第55号	令和7年度佐野市下水道事業会計補正予算(第3号)【収益的収入の予定額から209,586千円を減額、資本的収入の予定額から24,323千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第64号	教育長の任命について【松本(まつもと)　美智代(みちよ)氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第65号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第14号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
請願第　1号	通学用スクールバスの運用形態に関する請願	継続審査	賛成多数

※除斥とは、議会における審議の公正を期すために、審議案件と一定の利害関係を有する議員は当該案件の審議に関わることができないとする制度のことです。

賛否が分かれた議案等

議案等番号	件　名	議決結果	賛成	反対	議員名［議席番号順］																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
					堀川悦郎	田邉直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗﨑卓二	澤田裕之	穐原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
請願第1号	通学用スクールバスの運用形態に関する請願	継続審査	21	2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成　×＝反対
※菅原達議長は採決に加わりません。

議員案の審議結果

議員案第１号　佐野市議会委員会条例の改正について

▼提案理由

市の組織機構の再編に伴い、経済文教常任委員会の所管を改めるため本条例を改正したいので提案するものです。

▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、本会議において賛成全員で可決されました。

▲ 全文は、こちらからご覧になれます。

請願・陳情とは・・・

市民の皆様の意見や要望などを市政に反映させるため、市議会に対して、文書で施策の実現などを要望する制度です。請願は市議会議員の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。

請願書様式例

○○○○○○に関する請願書

紹介議員
氏名　　印

○○○○○○に関する請願

1　請願の趣旨
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2　請願の理由
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

年　月　日
佐野市議会議長　様

請願者　住所
氏名　　印

取り扱い

市議会に提出された請願や陳情は、議会運営委員会で、本会議に上程するか協議されます。本会議に上程する場合は、所管の常任委員会で審査後、本会議において、採択または不採択の決定を行います。採択された請願や陳情は、市長ほか関係執行機関に送付します。なお、郵送により陳情書が提出された場合は、委員会での審査及び本会議での審議は行わず、議員への周知のみの取り扱いとなります。

提出方法及び提出期限、審議結果などについては、市ホームページをご覧ください。

令和8年6月定例会日程(案)

令和8年第2回定例会の日程は、5月29日(金)の議会運営委員会で内定し、6月5日(金)の本会議で決定します。

5/25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	31日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		10:00 議会運営委員会		
6/1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)
10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)
10:00 本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決、閉会)						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が６件以下の場合は午前10時に開会し、７件以上の場合は午前９時に開会となります。

佐野市文化会館の工事見学

令和8年1月22日に佐野市文化会館リニューアル工事現場の見学に行きました。

佐野市文化会館は開館から40年以上が経過し、舞台・音響・照明・空調・電気設備などの老朽化による大規模な改修工事を実施する必要があるため、令和6年度より全面休館中です。

詳細や工事の進捗状況等については、市ホームページをご覧ください。

編集後記

2月定例会は2月20日から3月19日までの28日間開催されました。一般質問は4日間で20名の議員が質問しました。また、新任議員にとっては初めての予算審査でしたが、新年度の予算を審議する予算審査特別委員会では一般会計で18名、特別会計及び企業会計で11名の議員が質疑をし、慎重に審査に臨みました。

今後は市民の生活に直結する予算が適正に執行されるよう、議会としてしっかりチェックしていきます。

(鶴見記)

【編集委員会】
委員長　早川　貴光
委員　澤田　裕之
委員　小森　隆一
委員　小倉　健一
委員　鶴見　義明

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町１番地
電話：0283-20-3036　ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp